

事業番号	0	9	2
実施計画事業			
実施計画事業以外の事業	○		

令和元年度 事務事業評価シート

1. 事業の概要

事務事業名	読書啓発事業				担当部	教育委員会事務局					
事業期間	昭和63年度以前 ~ 令和2年度以降				担当課	図書館					
新基本計画 (平成26年~平成30年)	基本施策	16	展開方向	3							
予算区分	一般会計	款	10 教育費	項	05	目	09	大	02	中	03

2. 実施状況

子どもの読書活動推進のため、図書館本館、えほん図書館に児童サービスを配置するとともに、学校図書館を支援するために司書の派遣するなど、子どもの読書環境の充実を図りました。

- 子ども向け、一般向け、読み聞かせボランティア向け等図書館講座の実施
 - ・講師謝礼
- ブックスタート事業
 - ・ボランティア謝礼
 - ・消耗品費(ブックスタートパック購入費)
- 子ども読書活動の推進
 - ・臨時嘱託職員賃金(14名分)
 - ・社会保険料
 - ・映画会開催委託料
 - ・映画フィルム借上料
 - ・ボランティア活動保険料
- その他

3. 総合診断

事業費	項目	単位等	H27	H28	H29	H30	R1		
直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	2,388	2,561	2,180	2,096	
			国・県支出金	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	
		計(A)		千円	2,388	2,561	2,180	2,096	
	対前年比		%	-	107.2%	85.1%	96.1%		
	(当初)予算額		千円	2,578	2,578	2,624	2,676	3,805	
人件費	正職員		人	0.76	0.76	0.76	0.76		
	正職員(平均賃金)		千円	5,689	5,689	5,689	5,689		
	その他職員		人	13	14	14	14		
	その他職員(時給×時間)		千円	18,058	20,567	22,065	22,632		
	計(B)		千円	23,747	26,256	27,754	28,321		
事業費合計(C=A+B)			千円	26,135	28,817	29,934	30,417		
指標	成果指標	児童書の貸出点数	目標	450,000	450,000	450,000	450,000	450,000	
			実績	450,511	437,190	443,509	448,860		
	活動指標	児童書の購入冊数	目標	8,000	7,800	7,800	6,800	6,500	
			実績	8,333	7,777	7,945	6,831		
		児童サービス(本館、えほん図書館)、学校図書館活動支援業務等臨時嘱託職員配置人数	目標	13	14	14	14	14	
			実績	13	14	14	14		
	@事業費	受益者数(a)		人	-	-	-	-	
		受益者あたり事業費(b=C/a)		円	-	-	-	-	

診断結果	改善点は見られない	○	改善点が若干見られる	大いに改善すべき
	<p>児童書の購入については、配本用図書が飽和状態であるため購入目標冊数を減冊したが、実績は目標数を達成しています。</p> <p>臨時・嘱託職員については、図書館本館、えほん図書館に児童サービスを配置するとともに、学校図書館を支援するために市内全小中学校に司書の派遣をするなど、安定して子どもの読書環境の充実を図りました。</p> <p>また、児童書の貸出点数については、幼稚園・保育園への定期的な配本サービスを開始し、図書館に通えない子どもも含め、より多くの子どもに読書に親しんでもらう機会を提供したことにより、目標の貸出点数にほぼ達しました。</p> <p>少子化を理由とせず、充実した児童書の購入を行うとともに、図書館より積極的に読書啓発を行うことができていると考えます。</p>			

4. 総合評価

事業の方向性 削減額・対象	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの				
	事務事業評価による額	千円	予算区分	節	節	
評価結果	<p>読書啓発事業は、子どもの読書活動の推進に関する法律の趣旨により、特に将来を担う子どもを育成していく事業であり、継続・安定して実施していくことが重要であるので、事業のボリュームは現状規模で維持すべきものと考えます。</p>					